

第4回会議の進め方と資料の解説

会議の目的

これまでの会議で委員の皆様より出された意見が、第7次鹿角市総合計画基本構想(案)に反映されているかを確認し、未来会議全体の合意形成を図ることです。

【資料の見方と会議の進め方】

手順

具体的な作業

① 資料3 意見集の確認

- これまでの会議で委員の皆様から出された意見は、資料3「かづの未来会議意見集」に集約しています。
- 意見集では、各戦略ごとに全委員の意見を下段の枠内に記載し、未来会議全体の意見となるよう要点を整理した上で上段に太字で記載していますので、ご自身の意見がもれなく反映されているかを確認してください。

② 資料1 基本構想(案)の確認

- 資料3で要点整理した内容は、資料1「基本構想(案)」の「考察」に反映しています。
- 「考察」に反映した内容は、総合計画基本構想の「現在の記載」を「一部見直し案」に改めるための根拠、及び後期基本計画に向けた意見となるため、過不足なく意見が取り込まれているかを確認してください。

③ 過不足の調整

- 記載内容に過不足がある場合は、グループディスカッションにより新たな意見を出していただきます。また、後期基本計画で取り組んでほしい具体的なアイデアがありましたら議論してください。
- 意見は模造紙に集約し、各グループの代表者1名から発表していただきます。

資料3 意見集

委員意見の要点を 会全体の意見として整理

基本戦略1 活力を生む地域産業・生業を支える

取組方針1 地域産業の成長を支援します

- 鹿角市立高校産業工学科の魅力化と地元産業の活性化を結び付け、若者の定着や回帰を促す仕組みづくりを進めるとともに、副業人材や学生、外国人材など多様な働き手の参画を促す必要がある。
- 農業分野では、JA等のリーダーシップの下で地域に適した技術導入や設備改善を進め、遊休農地対策や冬の収入確保にも取り組むことが重要である。
- 労働力不足に対応するには、安定的な人材確保とともに、働きがいや生産性を高める仕組みを整え、個人の成長を地域産業の持続的発展につなげていくことが求められる。

- (村)本県立高校産業工学科の魅力化と地元産業の活力向上を結び付け、卒業生が地元就職し、または大学卒業後に鹿角に戻り、地元企業で活躍できるような仕組みが必要。
- (花田委員)鹿角の農業を育てるためには、専業農家の育成に加え、副業や学生など多様な働き手が農業に関わることも重要である。
- (村)本県立農業への参画は若者の地元定着を促すだけでなく、鹿角の農業に合った有効な活用方法を主体的に模索する組織(JA)などの強化が必要。
- (柳沢委員)JAの役割が強化され、リーダーシップでの農業の発展は、農業者の意識変化や組織の改革などにより実現が求められる。
- (柳沢委員)土地の相続や高齢化等、様々な事情で農産物生産が難しい状況により、副業農家の増加が期待されているが、大規模な農地を確保し、より一層生産性の向上を図ることが必要である。
- (柳沢委員)農産物の生産は、農業者だけでなく、関係する事業者にも関係があるため、多面的な取組が必要だと考える。
- (菅原委員)農業の振興は重要な課題である。土地と気候に恵まれ、外資の参入につながるが、食料不足に陥った場合に食料の供給が難しくなる。
- (菅原委員)農業に対する関心・関心の高まりが、若者、子育て、後継者の確保などに繋がっていることが示されている。
- (柳沢委員)農業関係の事業においては、安定的な人手不足が課題となっている。差別に、専業主婦は外国人材(外国人)を4人雇用したものの、最終的に定着したものの1名にとどまった。
- (柳沢委員)農業の振興は、関係する事業者の関心に応じて受け入れ可能な雇用者数が決まるため、十分な人材が確保できればサービスの拡大も可能である。このように

資料1 基本構想(案)

行政と会の意見を併記

現在の記載	一部見直し案	考察
基本戦略1 活力を生む地域産業・生業を支える 産業全般にわたって既存企業等の内発的発展を促すことで、地域産業や生業が地域に根付き継承されていく産業の自立力を強化し、安定的な雇用の創出を図るとともに、物流を支える幹線道路の整備により経済活動の効率性を高め、暮らしを支える産業の活力を創出します。 雇用条件の改善や労働環境のミスマッチを解消するなど、働きやすい環境づくりを進めるとともに、子育て支援、高齢者など働きやすい環境を整備し、働きやすい環境づくりを進めます。また、子育て支援の機会を提供し、子育てを促進し、多様な人材が安心して働くことができる環境を整えます。	基本戦略1 活力を生む地域産業・生業を支える 産業全般にわたって既存企業等の内発的発展を促すことで、地域産業や生業が地域に根付き継承されていく産業の自立力を強化し、安定的な雇用の創出を図るとともに、物流を支える幹線道路の整備により経済活動の効率性を高め、暮らしを支える産業の活力を創出します。 雇用条件の改善や労働環境のミスマッチを解消するなど、働きやすい環境づくりを進めるとともに、子育て支援、高齢者など働きやすい環境を整備し、働きやすい環境づくりを進めます。また、子育て支援の機会を提供し、子育てを促進し、多様な人材が安心して働くことができる環境を整えます。	<ul style="list-style-type: none">● 新型コロナウイルス感染症の影響により市内総生産は減少したものの、令和4年度には回復の兆しが見られ、1人当たり市内総生産も増加傾向を示している。● 製造業は、製造品出荷額等が増えているほか、従業員一人当たりの粗付加価値も増加しており、労働生産性が向上している。● 農業では、農業経営体数が10年で半減、一方で農業法人は2.4倍となり、経営面の維持と大規模化に資している。● 令和6年度における新規卒業者の管内就職者数は45人と、50人を下回り、過去10年間で約半数にまで減少した。一方、管内就職率は、令和6年度は過去10年間で最も高くなっている。● 鹿角市立高校産業工学科の魅力化と地元産業の活性化を結び付け、若者の定着や回帰を促す仕組みづくりを進めるとともに、副業人材や学生、外国人材など多様な働き手の参画を促す必要がある。● 農業分野では、JA等のリーダーシップの下で地域に適した技術導入や設備改善を進め、遊休農地対策や冬の収入確保にも取り組むことが重要である。● 労働力不足に対応するには、安定的な人材確保とともに、働きがいや生産性を高める仕組みを整え、個人の成長を地域産業の持続的発展につなげていくことが求められる。● 首都圏など都市部に人口が集中しており、本市でも雇用の困難やそれに伴う若者の減少を懸念として若い世代の参画の促進、女性や若者が能力を伸ばせる雇用環境の整備や多様な働き方の実現が求められている。● 若者に限らず、地元企業や組織に関する情報も適切に提供していないのではないかと考える。● 誰もが活躍できる環境づくりには、女性や若者、子育て世代への就業機会の拡大と、雇用で働く雇用の機会の確保が不可欠である。● アニメーションや農業などの産業、IT人材の参入、多様な人材を安心して迎え入れる環境整備が求められる。高校生を対象としたキャリア教育の充実や、IT技術を活かした農業、スキル連携の促進を通じて、人材の流出防止と呼び戻しを両立させ、地域全体の活力を維持・発展させることが必要である。● 農業では新規就農者支援や経営安定化、知識共有を進めるとともに、高齢農業者の定着を促すことで若者の関心も高める必要がある。

基本構想(案)へ反映

枠内に全委員の意見を掲載

グループディスカッション

